

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和2年度 要望・回答

相模鉄道

番号	要望事項	要望内容	回答
I 輸送力増強			
1 新線・線増計画			
(1)	いずみ野線のツインシティ方面への延伸	<p>ツインシティは、県央・湘南都市圏の南のゲートとして、全国との交流連携の窓口を形成することをめざしております。相鉄いずみ野線の延伸は、ツインシティ倉見地区と、横浜・川崎方面を結ぶ、県央・湘南地域にとって、大変重要な路線と考えています。</p> <p>平成28年4月には、交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」において、県央部と横浜市中心部や都心部との交通利便性向上が期待できるものとして、「湘南台から倉見まで」が位置付けられました。</p> <p>この答申では、事業性に課題があるため、関係者において、需要の創出につながる新たなまちづくりや広域交通の拠点整備の取組み等を進めたうえで、関係者ととも事業計画について、十分な検討を行うことが求められています。</p> <p>この課題に対応するため、藤沢市では、沿線の「健康と文化の森地区」において、住民との意見交換やまちづくり事業の具体的な検討など、新たなまちづくりに関する取組みを進めているところです。</p> <p>また、県、地元自治体や鉄道事業者、地元に立地する慶應義塾大学で構成される「いずみ野線延伸検討協議会」では、事業性の課題解決に向けた検討を進めているところです。このような状況を踏まえ、いずみ野線のツインシティ方面への延伸実現に向けた検討を行うよう要望いたします。</p>	<p>ご要望のツインシティ方面への延伸につきましては、当社も「いずみ野線延伸検討協議会」に鉄道事業者の立場で参加し、関係者間において事業実現に向けた検討を行っているとともに、延伸地域における需要創出に向けたまちづくりの進捗状況についても理解しているところです。更なる需要の創出に期待をするとともに今後も事業性の確保を大前提として検討を進めてまいります。</p> <p>自治体におかれましても、上下分離方式の導入や、道路財源等を投入する等、事業実現に向けた具体的整備手法等の確立を進めていただくことをお願い申し上げます。</p>
(2)	いずみ野線の平塚への延伸	<p>いずみ野線延伸については、ツインシティ方面までの延伸実現をめざしつつ、平成31年3月に、平塚への工事施行認可申請期限の5年延長が認可されていることから、湘南台駅から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス周辺までの区間を端緒とし、平塚への延伸についても早期事業化に取り組みされるよう要望いたします。</p>	<p>いずみ野線の湘南台以遠への延伸につきましては、鉄道ネットワークの拡充および地域発展への観点から重要課題として認識しており、事業性確保が大前提であります。これまでと同様に区分延伸していく意思を有しております。</p> <p>今後の神奈川東部方面線の開業や、延伸地域の市街化と環境の変化が続く中で、事業収支に見合う需要がどう創出されていくかを見極めたうえで、事業化の判断をしております。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
2 輸送計画の改善			
(1)	JR相模線への乗入れ	JR相模線の利用者は年々増加しており、相鉄・JR直通線が令和元年11月に開業したほか、都市鉄道等利便増進法に基づき現在事業中の相鉄・東急直通線が開通すると、更に利用者が増加すると見込まれております。 ついては、シームレス化等、乗換え客の利便性向上のため、JR相模線への乗入れを検討されるよう要望いたします。	当社車両がJR相模線へ乗り入れるためには、現在のJR相模線が単線構造であるため、運行面で大きな課題があるとともに、編成両数をはじめ車両設備や駅設備等について乖離が大きいため、大規模かつ多額の設備投資が必要になります。また、乗り入れを検討するに際し、新規の輸送需要の発生が見込めない現状においては、事業採算性が確保できないと考えられます。 従いまして、現段階での乗入れは困難であると判断しております。
(2)	小田急線への乗入れ	厚木・愛甲地域(厚木市、愛川町及び清川村)の住民が横浜方面に移動する頻度は、東京方面と同じく年間相当数あり、海老名駅での乗換えに不便を感じております。 相鉄本線は、過去において本厚木駅まで乗入れていた実績があり、また、相鉄・JR直通線が令和元年11月に開業し、相鉄・東急直通線事業に伴う工事も進んでいることから、これを契機に、関係各社と連携して本厚木駅までの乗入れについてご検討されるよう要望いたします。 本厚木駅は、他線との乗換えがない関東大手私鉄の駅において乗降人員数がトップクラスであると同時に、厚木市の昼夜間人口比率は115.6%であり、県内19市中1位であります。これは、市内在住及び在勤、在学の多くの利用者があるものであり、横浜方面への往来も相当な数に上ります。 よって、現在海老名駅止まりの相鉄本線が本厚木駅まで延伸されることで、本厚木駅利用者のみならず、県央・県西方面の住民の利便性が飛躍的に向上します。 また、関東有数の観光地である箱根や第4の国際観光地をめざす霊峰大山地域を乗換えなしで結ぶ新たな交通ネットワークの構築は、社会便益の向上及び新たな輸送需要の喚起につながるものであり、地域経済の活性化の観点からも、本格的な検討をお願いいたします。	小田急線への乗り入れにつきましては、地域住民の方からのご要望をはじめ、関係自治体からも多くの働きかけをいただいております。当社といたしましても、横浜市内と商業・工業・研究施設等の集積が進む神奈川県央地域、あるいは関東有数の観光地である箱根地域とを乗換えなしで結ぶ新たな交通ネットワークの構築は、社会便益の向上及び新たな輸送需要の喚起につながるものと考えております。 しかしながら、現状において、当社車両が小田急線に乗り入れるためには、信号保安設備、車両設備及び駅設備等の改修を行うために大規模かつ多額の設備投資と両社における運行ダイヤの調整が必要であり、現段階での乗入れは困難であると判断しております。
(3)	通勤時間帯の横浜駅～海老名駅間の特急電車等の充実	相鉄・JR直通線が令和元年11月に開業し、それに伴いダイヤ改正が行われ、一日を通して特急電車が運行されるようになりました。しかしながら、平日の朝ラッシュ時間帯の横浜行きの特急、急行電車が減便となる等、横浜行きの利便性が損なわれた面もあります。 海老名市では駅周辺の都市基盤整備が進められており、今後も海老名駅鉄道利用者の大幅な増加が見込まれます。 ついては、利用者の利便性向上を図るため、同時時間帯での横浜駅～海老名駅間の特急電車等の運行について充実されるよう要望いたします。	当社におきましては、海老名駅周辺から横浜方面への速達性、サービスの向上等を鑑み、平成26年春のダイヤ改正において日中時間帯(10時台～15時台)の特急列車の運転を開始しました。その後順次運行時間帯を拡大し、現在は横浜行きと、JR線直通を合わせましてほぼ1日を通して運行しております。また、JR線直通は西谷で横浜方面の列車との接続をすることで、お乗り換えによる横浜方面への利便性も確保しております。 今後も、相鉄・東急直通線の開業に合わせ、速達性及び利便性を更に向上させた運行計画を策定してまいります。

番号	要望事項	要望内容	回答
(4)	神奈川東部方面線の事業推進	神奈川東部方面線(相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線)については、相鉄・JR直通線が令和元年11月に開業し、横浜市西部及び神奈川県中部と東京都心部との速達性の向上が図られました。相鉄・東急直通線についても、新幹線駅である新横浜駅へのアクセス向上や、沿線の更なる発展などに資することから、引き続き、令和4年度下期開業に向けて整備主体とともに確実に事業を推進し、既存の鉄道ネットワークを活用した多方面へのアクセス向上の検討にあたっては、一層利便性の高い路線となるよう、関係鉄道事業者との調整を積極的に行うよう要望いたします。	令和元年11月30日に開業を迎えた相鉄・JR直通線に続き、相鉄・東急直通線につきましても、令和4年度下期の開業を目指して各所で工事が進捗しております。 当社といたしましても、相鉄・東急直通線の早期開業に向け、引き続き、整備主体である鉄道建設・運輸施設整備支援機構、営業主体である東急電鉄と協力して、積極的に事業を推進してまいりますので、貴会議におかれましても、事業に対してご理解を賜り、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。
番号	要望事項	要望内容	回答
II 利便性向上			
1 新駅の設置			
(1)	海老名駅～かしわ台駅間への新駅の設置	海老名駅～かしわ台駅間には住宅地が広がっており、また、現在、新たな住宅地の開発も順次進められております。 ついては、駅間が2.8kmと他駅間に比べて長いことから、利用者の利便性向上のため、新駅を設置されるよう要望いたします。	現在、海老名駅総合改善事業(連携計画事業)におきまして、駅舎のリニューアルとともに、北側改札口及び連絡通路の整備を進めており、海老名駅～かしわ台間にお住まいの方の利便性向上が図られると考えております。 一方で、海老名駅及びかしわ台駅の間地点に新駅を設置することは、周辺地域が市街化調整区域であることと、交通利便性及び商業集積が非常に高く、広域駅勢圏を有する海老名駅に隣接することになり、新駅利用者は、海老名駅及びかしわ台駅を利用している既存利用者の一部が転移するものと考えられ、新たな需要喚起が見込めず、運営費用を賄うことが非常に困難であると考えられます。 しかしながら、両駅間距離が2.8kmと長いこと、海老名市北東部の交通不便地域の解消に大きなメリットがあること等に鑑み、海老名市等により、道路・駅前広場等の基盤整備、請願駅としての駅整備並びに新規の輸送需要創出のための周辺地域の面開発等を実施いただければ、新駅の設置について協議を開始させていただきます。

番号	要望事項	要望内容	回答
2 駅施設等の整備			
(1)	高齢者、障害者、乳幼児連れの保護者等に配慮した駅施設の整備等	<p>「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」に基づき、バリアフリー化について、整備を進めていただいているところですが、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」も踏まえ、誰もがより安全かつ自由に駅を利用できるよう、引き続き、次の事項について、特段に配慮されるよう要望いたします。</p> <p>また、県内市町村において、バリアフリー法に基づく基本構想が作成されている場合、当該基本構想に基づく公共交通特定事業計画の作成及び移動等円滑化にかかる事業を推進し、整備にあたっては、高齢者・障害者など駅利用者の意見を聞きながら進めるよう要望いたします。</p> <p>①転落防止 ホームからの転落や列車との接触防止対策として有効な、ホームドアや可動式ホーム柵の設置について、令和4年度までに相鉄線全駅に設置すると回答していただいておりますが、市民の安全・安心に直結し1日も早い整備完了が求められていますので、引き続き整備計画の前倒しをお願いいたします。</p> <p>また、ホームと車両との段差及びすき間の解消につきましても、取組みをお願いいたします。</p> <p>②多機能トイレ等 妊産婦・乳幼児連れの保護者が安心して利用出来るような施設(親子トイレ、ベビーキープ付きトイレ、子どもサイズの便器・手洗い器・ベビーベッド、授乳室等)の整備を要望いたします。</p> <p>また、温水シャワー水栓付き汚物流し及び車いすを使用するオストメイトにも利用可能な高さ調整機能の導入、重度心身障害者も利用できるような車いす対応トイレへの大人用ベッドの設置について要望いたします。</p>	<p>駅周辺におけるバリアフリー基本構想に基づく公共交通特定事業計画の作成と共に、施設更新の際には、駅利用者の意見を踏まえながら、引き続き推進に努めてまいります。</p> <p>① 可動式ホーム柵につきましては、横浜駅・羽沢横浜国大駅の設置が完了しており、令和2年度は、二俣川駅・大和駅・湘南台駅の設置を完了させるとともに、今後相鉄線全駅に設置してまいります。設置工事につきましては、ホームを補強する工事や定位置停止装置の工事を順次進めながらとなりますので、工程を精査して、一日も早い整備ができるよう努めてまいります。令和3年度は、西谷駅を始め順次設置工事を進めてまいります。</p> <p>ホームと車両との段差及びすき間の解消につきましては、ホームの側面に隙間を狭めるための転落防止ゴム(くし形状のゴム)の設置等を進め転落防止に努めるとともに、新型車両を導入する際には、段差の解消のために床面高さを基準内で極力下げた設計とした車両を導入してまいります。</p> <p>② 親子トイレ、ベビーキープ付きトイレ、子供サイズの便器、手洗い器、ベビーベッド、授乳室につきましては、改良工事を行う際、スペースに余裕がある場合は検討してまいります。</p> <p>温水シャワー水栓付き汚物流しにつきましては、改良工事に合わせて順次整備する予定です。高さ調整機能の導入につきましては、今後検討してまいります。</p> <p>車いす対応トイレには、スペースに余裕がある場合は大人用ベッドを設置する方向で進めております。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
		<p>③エレベーター等 傷病者の収容に関しては、救急担架(奥行き2.0m、幅0.6m程度)を水平に搬送することが望ましい傷病者も多いため、救急担架を容易に収納できるエレベーターの設置を駅改良工事等にあわせて行っていただくよう要望いたします。なお、設置スペースの制約により、設置まで期間かかる場合は、当面の代替策(階段での搬出時の駅職員協力体制の確保等)による対応をお願いいたします。</p>	<p>③ 救急担架を収容できる大きさのエレベーターの設置につきましては、レイアウトや構造上、非常に困難と思われていますが、今後の改良工事等の機会を捉え検討してまいります。また、傷病者を階段により搬出する場合には、可能な限り駅係員による協力体制を確保いたします。</p>
		<p>④構内床仕上げ 駅構内の床について、雨天時においても滑りにくい仕上げとするよう要望いたします。</p>	<p>④ 駅改良工事で床を改修する場合、滑りにくいものを選定することを念頭に置いておりますが、万一経年により滑りやすくなった場合には、タイル表面処理を施し、滑りにくくなるよう努めております。</p>
		<p>⑤案内表示 視覚障害者が安全かつ円滑に移動できるよう、全26駅に点字案内表示板を設置していただいているところですが、改札や階段、トイレ、昇降施設等駅構内における音響音声案内装置の設置の推進、視覚障害者用階段表示の整備を要望いたします。また、聴覚障害者の利便性向上を図るための、車内行先電光表示板の設置の推進についても要望いたします。</p>	<p>⑤ 当社では、視覚障害者をお持ちの方が安全かつ円滑に移動できるよう、全26駅に点字案内表示板を設置しており、その他、改札口、券売機、トイレ、エレベーターの音声案内装置については、改良工事中の海老名駅を除く全25駅に設置しております。また、エスカレーターにつきましては、一部の設備が未対応となっておりますので、機器更新の機会に対応してまいります。 視覚障害者用階段表示につきましては、改良工事を実施する際には移動等円滑化整備ガイドラインに則り、識別しやすい階段の整備に努めてまいります。 車内行先電光表示板の設置につきましては、新型車両への代替や既存車両の機器更新を進め、より見易い設備の設置推進に努めてまいります。</p>
		<p>⑥人員対応 高齢者や障害者、乳幼児連れの保護者等のエレベーター等利用時の配慮、高齢者や障害者の行動特性を考慮した実践的な訓練の推進、利用者へ声かけなどの心のバリアフリーの啓発について引き続き継続していただくよう要望いたします。</p>	<p>⑥ 駅係員につきましては、お手伝いが必要なお客様に適切なご案内ができるようサービス介助士資格を取得し、ご要望に応じてお客さまのお手伝いをさせていただいております。また、新型コロナウイルスの影響を受ける中、オンライン研修を取り入れることにより、「交通事業者向け接遇ガイドライン」を念頭とした「コミュニケーション能力の強化」と「障害の社会モデルの理解」を促進し、積極的なお声かけや、相手の立場を考えた接客に努められるよう、心のバリアフリーへの啓発を続けております。引き続き、知識と技能の維持向上に努めてまいります。 お客様へのマナー啓発につきましては、ポスターやデジタルサイネージ、ホームページなどにおきまして、機会を捉えて引き続き掲出してまいります。</p>

番号	要望事項	要望内容	回答
(2)	海老名駅北側改札口の事業推進について	かねてより要望している海老名駅北側改札口の整備等も含めた総合的な施設整備について、国庫補助制度を活用して事業を推進しているところです。 海老名市では平成27年に海老名駅西口土地区画整理事業による海老名駅西口地区のまち開きがされ、現在も駅周辺地区は民間事業者による開発が進められており、今後も海老名駅鉄道利用者の大幅な増加が見込まれます。海老名駅の東西結節機能の強化など、海老名市地域公共交通協議会での協議事項も反映し、総合的な施設整備に向けて取り組まれるよう要望いたします。	海老名駅は今後も駅周辺の都市基盤整備が一層進み、鉄道利用者的大幅な増加が見込まれる中、現状の駅構造のままでは、混雑悪化による利用者の利便性、安全性に影響が出る事が懸念されます。北側改札口の整備と並行して、現在施行中の海老名駅改良工事の早期完成と連絡通路の整備等、総合的な施設整備を海老名市地域公共交通協議会と連携して進めてまいります。
(3)	西谷駅のバリアフリー化	相鉄・JR直通線が令和元年11月30日に開業し、相鉄・東急直通線も令和4年度下期に開業が予定される中、西谷駅は拠点駅として重要な役割を担うこととなります。駅舎は昭和40年代に建設され、改良を重ねてきましたが、南側はいまだにバリアフリー化がされていません。 つきましては、誰もが安全かつ自由に駅を利用できるよう、南側のバリアフリー化を要望します。	西谷駅南口のバリアフリー化につきましては、ご要望も多いことから以前より検討、行政協議を進めておりますが、駅舎の建設年度が古いことから建築基準法の既存不適格となっております。単純に増築する場合、既存駅舎を現行法規に適合させる必要があるため、構造上困難な状態となっておりますが、引き続き検討を進めてまいります。
番号	要望事項	要望内容	回答

III その他

(1)	自転車等駐車場用地の提供等放置自転車対策の推進	近年、通勤・通学者の鉄道駅までの交通手段として、自転車や原動機付自転車の利用が急増しており、駅前の歩道、車道、さらに周辺の道路、空地にこれらの自転車等が放置され、歩行者の安全対策、車両交通対策、また景観上から支障が大きくなっております。 このような問題の解決及び利用者の利便性向上のため、各市町村では自転車放置禁止区域を指定し、放置自転車の移動作業を定期的に行うとともに、自転車等駐車場の確保及び整備に努力しているところですが、貴社におかれても、駅周辺状況に応じて自転車等駐車場の整備や用地の提供等について、引き続き特段のご協力、ご配慮をお願いいたします。 特に、令和元年度に開通した神奈川東部方面線との分岐駅となる西谷駅や、新設された羽沢横浜国大駅についても取り組まれるよう要望いたします。 なお、市町村としても、自動二輪車の駐車対策を早急に進める必要があるため、自転車や原動機付自転車と同様に特段のご協力、ご配慮をお願いいたします。	当社では、直営の自転車駐輪場を5駅8箇所(8,789㎡・5,151台)に設置しており、地方公共団体に用地を提供している自転車駐輪場が5駅6箇所(1,583㎡・1,403台、無償提供)、その他第三者に運営委託している自転車駐輪場が6駅11箇所(2,530㎡・1,593台)あります。 今後、引き続き積極的に自転車駐輪場設置に向け努力してまいります。しかしながら、用地確保が最大の問題であり、駅舎下、高架下等の鉄道用地の活用、既存駐輪場の増床等の検討を行っているものの、自転車駐輪場のさらなる設置は非常に困難な状況であります。 自転車駐輪場設置にあたり、一部の地方公共団体から補助金をいただいておりますが、すべての地方公共団体からご支援を頂けますようお願いを申し上げますとともに、駅周辺で放置禁止区域と違法駐輪・放置自転車禁止について、利用者へのモラル向上の啓発に努めていただきますようお願い申し上げます。
-----	-------------------------	---	---

番号	要望事項	要望内容	回答
(2)	湘南台駅構内における多言語での案内放送の実施	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセーリング競技が江の島で開催されることや、平成31年4月に施行された出入国管理及び難民認定法の改正により外国人が日本に在留し就労する資格が拡充され、今後、観光客をはじめとする更なる外国人の増加が見込まれます。</p> <p>湘南台駅については他社線への乗換え駅であり、多くの外国人観光客等の利用が見込まれるため、導入されているリアルタイム多言語通訳サービスやAI通訳機、多言語表記での案内サインに加え、駅構内における多言語での案内放送の拡充を要望いたします。</p>	<p>駅構内における多言語対応につきましては、リアルタイム多言語通訳サービスに加え、AI通訳機を全駅に導入し多言語案内の充実化を図っております。また駅構内の案内サインにつきましても、多言語表記に改修いたしております。</p> <p>多言語での案内放送につきましては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までに、運行情報配信システムに音声合成システムを使用した多言語(日本語・英語・中国語・韓国語)による音声案内機能を付加する予定であります。</p>